



追加型投信／内外／複合資産

2023年2月 - 月次レポート

市場の動き

2月の海外株式相場は全体では下落しました。米国では、1月の雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比+51.7万人となり、市場予想を上回りました。また、1月の小売売上高は前月比+3.0%となり、市場予想を上回りました。欧州では、2月のユーロ圏総合購買担当者景気指数(PMI)速報値が前月から上昇し、市場予想を上回りました。また、ドイツの2月のIfo企業景況感指数は前月から上昇しました。

こうした環境下、米国では、月前半は早期の利上げ停止観測が強まったこと等から底堅い展開となりましたが、月後半は1月の消費者物価指数(CPI)や生産者物価指数(PPI)の上昇率が市場予想を上回ったことを背景に利上げ長期化観測が強まったこと等から下落し、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。一方、欧州は、欧州企業の好決算や堅調な経済指標、欧州委員会が2023年のユーロ圏実質域内総生産(GDP)成長率見通しを上方修正したこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

国内株式相場は上昇しました。米国の利上げ長期化観測を背景とした米国株式相場の下落は重しとなったものの、円安傾向となったことに加え、植田日銀総裁候補が衆議院の所信聴取で金融緩和策を継続する姿勢を表明したことを受けて買い安心感が広がったこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

海外債券相場は下落しました。前月末に3.5%台前半であった米国10年物国債利回りは、1月のCPIやPPIの上昇率が市場予想を上回ったことを背景に利上げ長期化観測が強まったこと等から上昇し、最終的に3.9%台前半で月を終えました。前月末に2.2%台後半であったドイツ10年物国債利回りは、欧州中央銀行(ECB)による利上げ長期化観測が強まったこと等から上昇し、最終的に2.6%台後半で月を終えました。

国内債券相場は、10年物国債は下落したものの、相場全体では上昇しました。前月末に0.4%台後半であった10年物国債利回りは、米国の長期金利の上昇が波及したこと等から上昇し、最終的に0.5%台前半で月を終えました。

為替市場では、欧米の利上げ長期化観測が強まった一方で、日銀の金融緩和の継続観測が強まったこと等を背景に円安が進んだことから、米ドル/円相場は4.7%の円安、ユーロ/円相場は2.3%の円安となりました。

ライフポイント

ライフポイントは、投資者のみなさまの長期的な資産形成をお手伝いするために、世界の大手年金基金等が使用している分散投資アプローチを投資信託としてご提供するプログラムです。ラッセル・インベストメントの“マルチ・マネージャー・ファンド”を利用し、“マルチ・アセット(資産クラス分散)、マルチ・スタイル(運用スタイル分散)、マルチ・マネージャー(運用会社の分散)”という、3段階のリスク分散により、リスク・コントロールを可能にしたポートフォリオを投資者のみなさまにご提案致します。

ラッセル・インベストメントグループ

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約36兆円※となっています。(※ 2022年12月末現在、為替換算レート: 131.94円/ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。)

ラッセル・インベストメント株式会社

これまでラッセル・インベストメントグループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資者のみなさまにご提供致しております。

